



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社エコス 上場取引所 東
 コード番号 7520 URL http://www.eco-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 邦雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部長兼 (氏名) 村山 陽太郎 (TEL) 042-546-3711
 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	34,680	11.5	1,580	80.4	1,601	77.9	1,069	97.3
2020年2月期第1四半期	31,105	5.7	876	7.9	900	7.5	542	3.9

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,058百万円(102.4%) 2020年2月期第1四半期 522百万円(3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	101.91	94.17
2020年2月期第1四半期	50.83	46.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	48,104	15,732	32.5
2020年2月期	41,523	14,789	35.4

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 15,654百万円 2020年2月期 14,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,700	2.7	2,100	2.6	2,200	4.8	1,400	7.1	135.84
通期	130,000	2.7	4,400	2.6	4,500	2.3	2,700	11.9	261.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	11,648,917株	2020年2月期	11,648,917株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	800,376株	2020年2月期	1,342,386株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	10,498,760株	2020年2月期1Q	10,669,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、休業要請、外出自粛要請が本格化し、企業の景況感の悪化とともに、外食、レジャー、旅行関連の個人支出の急激な減少を招き、景気が急激に悪化しております。また当該宣言解除後も回復に向けた動きは鈍く、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。食品スーパーマーケット業界におきましては、食料品及び生活必需品などの需要増加に伴い来店客数及び売上点数の増加が認められますが、その一方で、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しや収束後における消費動向の見通し等、先行きの不透明感や不確実性が極めて高いと予想されますので、当社グループを取り巻く経営環境は予断を許さない状況であります。

このような外部環境の中、当社グループはこれまで通り食品スーパーマーケット事業に資源を集中し、経営方針である社是「正しい商売」を徹底し、お客様の信頼と支持を獲得するために、安全・安心でお買い得な商品の提供に努め、地域のお客様の食文化に貢献できる店舗づくりに取り組んでまいりました。

店舗運営面におきましては、安全・安心、新鮮で美味しい商品の提供、地域の実勢価格を丁寧に見極め集客につながる商品を割安感のある価格にて投入し、働く女性や中高年層のお客様にお応えする簡便商品や惣菜商品の強化などに努めました。また、ポイントカードを活用した販売促進や週間の販売計画に連動した売場づくりを強化し、集客の拡大に努めました。

商品面におきましては、地域の出荷組合などを活用した産直商品を積極的に導入し、美味しさ、品質と価格の両面において競争力の高い生鮮食料品を提供すると共に、グループ食品工場にて企画・製造した独自商品の提供を拡大し、惣菜売場等の活性化に努めました。日配・加工食品などにつきましては、エブリディロープライス商品を投入するなど積極的な販売活動を推進いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、346億80百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。また、営業総利益につきましては、商品調達コストの見直しや在庫効率の改善等に努め、前第1四半期連結累計期間に比べ7億58百万円増加（前年同四半期比9.6%増）いたしました。利益面につきましては、営業利益15億80百万円（前年同四半期比80.4%増）、経常利益16億1百万円（前年同四半期比77.9%増）となりました。これは主に、営業総利益が前年同四半期比7億58百万円の増加であったのに対して、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ54百万円の増加（前年同四半期比0.8%増）にとどまったためであります。最終利益につきましては、特別損失として固定資産除却損等2百万円が発生しておりますが、10億69百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同四半期比97.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ65億80百万円増加し、481億4百万円となりました。これは主に流動資産が66億12百万円増加したためであります。流動資産の増加の主な要因は、「現金及び預金」の増加であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ56億37百万円増加し、323億71百万円となりました。これは流動負債が20億44百万円増加し、固定負債が35億93百万円増加したためであります。流動負債の増加の主な要因は、「買掛金」及び「一年以内返済予定長期借入金」等の増加であり、固定負債の増加の主な要因は、「長期借入金」等の増加であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億43百万円増加し、157億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億8百万円増加し、自己株式が7億75百万円減少したためであります。利益剰余金の増加の要因は、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益による10億69百万円の増加に対し、株式配当による4億12百万円の減少であります。自己株式の減少の要因は、ストックオプションの権利行使に伴う振替によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スーパーマーケット業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の問題もあり、今後の消費動向の見通し等、先行きの不透明感や不確実性が極めて高いと予想され、経営環境は予断を許さない状況であります。当社グループは、年度の経営目標の実現に向けて鋭意取り組んでおります。第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は、極めて特殊な外部環境の中にあつて、当初の予定を超えて推移しているものと判断しており、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大または収束による経済情勢の先行き不透明感もありますが、現時点では2020年4月14日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,717	14,261
売掛金	2,544	2,949
商品及び製品	3,735	3,397
原材料及び貯蔵品	28	33
未収入金	3,291	1,156
その他	615	763
貸倒引当金	△26	△41
流動資産合計	15,907	22,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,605	8,561
土地	6,789	6,789
その他(純額)	1,493	1,458
有形固定資産合計	16,888	16,809
無形固定資産		
	714	700
投資その他の資産		
投資有価証券	892	864
敷金及び保証金	5,008	4,973
繰延税金資産	1,568	1,712
その他	697	679
貸倒引当金	△157	△158
投資その他の資産合計	8,009	8,071
固定資産合計	25,612	25,581
繰延資産		
社債発行費	3	3
繰延資産合計	3	3
資産合計	41,523	48,104

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,545	8,456
1年内返済予定の長期借入金	4,438	5,598
1年内償還予定の社債	737	550
未払金	1,818	1,287
未払法人税等	983	755
賞与引当金	550	1,112
その他の引当金	314	182
その他	1,069	1,559
流動負債合計	17,458	19,502
固定負債		
社債	875	600
長期借入金	6,013	9,932
役員退職慰労引当金	676	656
退職給付に係る負債	778	760
資産除去債務	152	153
長期未払金	30	19
その他	749	745
固定負債合計	9,275	12,868
負債合計	26,733	32,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,318	3,318
資本剰余金	3,591	3,591
利益剰余金	11,034	11,243
自己株式	△1,920	△1,145
株主資本合計	16,024	17,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	3
土地再評価差額金	△1,318	△1,318
退職給付に係る調整累計額	△40	△38
その他の包括利益累計額合計	△1,342	△1,353
新株予約権	107	78
純資産合計	14,789	15,732
負債純資産合計	41,523	48,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	30,524	34,003
売上原価	23,177	25,994
売上総利益	7,347	8,008
営業収入	580	677
営業総利益	7,927	8,686
販売費及び一般管理費	7,051	7,105
営業利益	876	1,580
営業外収益		
受取利息	7	7
資材売却による収入	42	35
その他	4	5
営業外収益合計	53	48
営業外費用		
支払利息	18	16
コミットメントフィー	5	5
その他	5	5
営業外費用合計	30	27
経常利益	900	1,601
特別損失		
固定資産除却損	33	2
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	35	2
税金等調整前四半期純利益	864	1,598
法人税、住民税及び事業税	380	667
法人税等調整額	△57	△139
法人税等合計	322	528
四半期純利益	542	1,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	542	1,069

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	542	1,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△13
退職給付に係る調整額	△3	1
その他の包括利益合計	△19	△11
四半期包括利益	522	1,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	1,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストックオプションの権利行使により自己株式が775百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,145百万円となっております。